

〔第17回明専塾（オークマ株）〕 知能化する工作機械

情報工学府学際情報工学専攻M1 西田 拓人



はじめに

令和元年7月10日に、飯塚キャンパスにおいて第17回明専塾が開催されました。今回は、オークマでご活躍されているOBの方々をお招きして開催されました。

講演会

今回は、近藤大介氏（情機H21）、梶野誠氏（設機H10）、一木洋介氏（機H2）の計3名の先輩方にご講演いただきました。オークマの会社の概要等に加えて、先輩方の入社後の経歴や、大学時代に学んだどの科目が役に立っているか等、普段知るこ



講演会の様子

とができない貴重なお話も聞くことができました。

中でも、工作機械が持つオークマならではの技術が印象的でした。オークマのマシニングセンタは知能化が進んでおり、最適な切削条件や運動軸のサーボパラメータなどの調整を機械自身が行うことができる機能を付けられることを知り、驚きました。

懇親会

ラーニングアゴラで行われた懇親会では、OBの方々、先生方と食事しながら気軽な雰囲気でお話をさせていただきました。入社して部署が決まるまでの流れ、勤務地や海外転勤がどのように決まるか、勤務先での生活はどうか等様々な質問にお答えいただけました。技術的なことから生活感のあるお話まで聞くことができたのが良かったです。

また、どの先輩も英語の勉強はしておいた方がいいと言われていたのが印象的でした。実際に海外勤務経験のある先輩もいらっしゃって、どのように英語を勉強したか、現地でのどのような生活をしていたかなどを聞くことができました。

おわりに

私は工作機械業界に興味があり、今回の明専塾に参加しました。実際の業務だけでなくオークマ社員の生活なども知ることができ、貴重な時間となりました。今後の就職活動の見直しを持つことができました。

今まで私は明専塾に参加したこと

がありませんでしたが、今回の機会が明専塾のすばらしさを体感することができました。これからは工作機械メーカーに限らず明専塾に参加し、視野を広げていけたらと思います。

謝辞

今回、ご多忙の中、私たち学生のためにご講演くださったオークマにお勤めのOBの皆様、ならびにこのような貴重な機会を提供していただいた明専会や教職員の皆様に心より御礼申し上げます。



懇親会の様子